



PDA 青森県即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2020年7月18日（土）12:00-16:00

会場：オンライン（Zoom）

参加者：生徒38名、教員7名

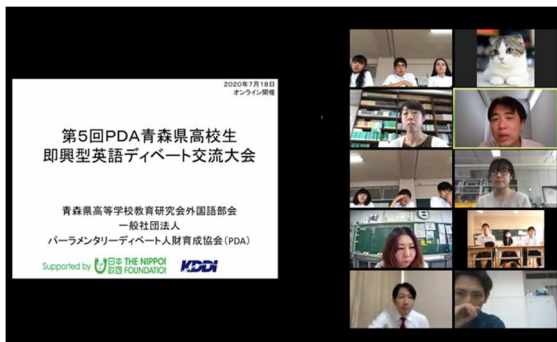
ジャッジ：青森県立青森南高等学校、青森県立青森高等学校、青森県立三戸高等学校、青森県立三本木農業高等学校、神奈川県立相模原高等学校

主催：青森県高等学校教育研究会外国語部会

共催：一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

はじめに、PDA ディベート推進委員長の大賀より、参加校の紹介、ジャッジを務める講師の紹介が行われました。次にPDA 代表理事の中川より「大学の授業は現在オンラインで行われています。オンラインでディスカッションをするということもよくあります。こういった活動をオンラインでしようとする、コミュニケーションを円滑にするために表情を豊かにする、わかりやすく頷くなどの工夫がより必要になります。今回はそういったオンラインならではの工夫にもトライしてみてください。」とメッセージが送られました。その後、POI（質疑応答のルール）の練習が行われました。



開会式の様子



POI の練習



PDA 代表理事 中川の挨拶

早速、第1ラウンドの開始です。論題は「Japan should make voting compulsory.（日本は投票を義務化すべきだ。）」でした。ディベートでは、日本の直面している少子高齢化の問題や、若者の政治に対する関心の低下、投票しない権利についてなど幅広い観点から議論が行われました。ディベートが終わると、お互いにエア握手を交わしました。



プレパレーションタイム



R1 青森 A VS 八戸 A



R1 青森南 B VS 青森明の星 C



ディベート後にエア握手



ジャッジの先生からのフィードバック

ジャッジの先生からコメントをもらうとすぐ2ラウンド目が始まりました。2ラウンド目の論題は「"Go To travel" campaign should be cancelled.. (Go To トラベル キャンペーンは中止されるべきだ。)」でした。最近よくニュースなどで耳にするホットなトピックです。生徒たちは、コロナウイルス感染症が広がるリスクと人の移動が無いことによる経済的ダメージのどちらが重要なのかなどについてディベートを行いました。



POI！（青森明の星 C VS 青森南 A）



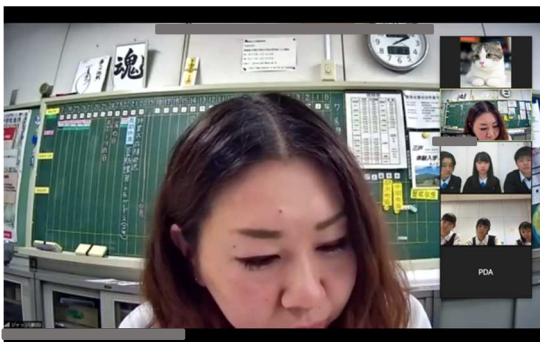
POI！（八戸 A VS 青森明の星 A）



ディベート後のエア握手



R2 八戸聖ウルスラ学院



勝敗の発表（青森南 B VS 田名部）



ジャッジの先生からのフィードバック

2 ラウンド目が終わると、各高校から選抜された生徒 6 名によるエキシビジョンディベートです。論題は、「School summer holidays should be shortened. (学校の夏休みは短縮されるべきである。)」でした。見学の生徒もメモを取り、勝敗を出しました。夏休みに塾に通うことのできる生徒とそうでない生徒の学力差についてや、長い夏休みだからこそできることについてなどについて意見が飛び交い、白熱した議論となりました。



エキシビションディベートの様子

観戦した生徒も挙手でどちらが勝ったかを投票しました。その後、チーフジャッジの青森高校当麻先生より勝敗の発表がありました。今日のエキシビションディベートの勝者は **Opposition(否定側)** となりました。エキシビションディベートを行った生徒が、「難しかったがやりがいがあった」と感想を述べ、青森交流大会の幕を閉じました。



生徒による勝敗の投票



当麻先生によるコメント

生徒の声（アンケートより抜粋）

- 先輩方と同じステージでできたこと、相手と白熱したディベートをできたこと、ジャッチの先生にベストディベーターに選んでいただいたこと、そしてこうやってディベートをオンラインで、できたこと全てが嬉しく感謝をしたい。【青森】
- 青森県の高校の方と楽しくディベートすることができ、貴重な機会になりました。【八戸聖ウルスラ学院】
- 英語がうまくなりたくて参加しました。zoomだったので抑揚やジェスチャーができなくて残念でしたがもし実際にやることがあったらぜひ参加したいと思っています。ディベートの練習は学校でたった三日しかしませんでしたけど仲間とうまくできてよかったです。【八戸】
- 初めて参加してみて、意見をまとめるのが難しかったです、上手な人の意見の作り方が勉強になりました。これから授業などに活かすことが出来るような大会でした。ありがとうございました。【青森南】
- エキシビジョンマッチを見て、2年後に自分が同じようなレベルで英語を述べられるか不安になった。が！むしろ越してやろうくらいの勢いで頑張ろうとも思えた。時間を無駄にしないようにします。【青森南】
- 最初の方は緊張していたけど、2回目は喋ることができたと思うので良かったです。【青森】
- 初めて参加してみて、意見をまとめるのが難しかったです、上手な人の意見の作り方が勉強になりました。これから授業などに活かすことが出来るような大会でした。ありがとうございました。【青森南】
- 難しかったが、意見をお互いに言いあえてとても楽しかった。また機会があったらやりたい。【八戸】
- やはり「人の英語を聞き取る」力に関して課題があると感じた。zoom を使ったディベートだったことも原因にはあるが、人が話す英語の単語一つ一つを聞き取る力が足りないことが顕著に表れていた。今後解決すべき課題ができた。【八戸聖ウルスラ学院】
- 英語で伝えるのも難しかったです、自分の意見じゃない方の立場から意見を考えるのが難しかったです。【田名部】
- 回線の都合により、上手くききとることが出来なかったり、相手に伝わりづらくなってしまったのが残念です。初めてのディベートの大会で緊張しましたがとても楽しかったです。【青森】
- 色々な社会情勢について考えまた意見を述べるという経験ができて大変良かったです。このディベートで自分の問題点や改善点を知ることができました。今日見つけたこと、ほかの人の良いところなどを参考に今後の生活に活かし、来年も大会に出場したいと思いました。【青森明の星】

エキシビジョンディベートに出られたみなさん

- PM —— さん (青森高校)
LO —— さん (八戸高校)
MG —— さん (青森明の星高校)
MO —— さん (八戸聖ウルスラ高校)
LOR —— さん (八戸高校)
PMR —— さん (青森南高校)



ベストチーム賞

- 1位 青森南高校 A
- 2位 青森南高校 B
- 3位 八戸高校 B
- 4位 八戸聖ウルスラ学院高校 A
- 5位 八戸聖ウルスラ学院高校 B
- 6位 青森明の星高校 A
- 7位 青森高校 A

ベストディベーター賞

- さん (青森南 A)
- さん (八戸ウルスラ学院 B)
- さん (八戸 B)
- さん (八戸ウルスラ学院 A)
- さん (青森明の星 C)
- さん (八戸 A)
- さん (青森南 B)
- さん (青森南 B)
- さん (青森明の星 B)
- さん (青森明の星 A)
- さん (青森 A)
- さん (青森 A)

POI 賞

- さん (青森南 A)
- さん (八戸聖ウルスラ学院 A)
- さん (青森 B)
- さん (田名部)
- さん (青森明の星 A)
- さん (青森 B)